

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2

電話・FAX 029-284-0761

E-mail toukai@oona-mieko.info

村は福祉の心、公の役割を果たそうと努力する心を無くさないで

現在村の予算の立て方は包括予算制度に基づき、まず財政担当課から各課に予算配分を示し、各課はその範囲で予算案を考えます。同時に毎年経常経費については例えば 3%、それ以外は 5% のような削減率も示すというシーリングをかけることもしています。



それは、本来行政が重視しなければならない福祉や子育て、教育も同じとされています。各課では毎年「何か減らさなければならない」ため大変悩むそうです。そして無理やり減らす事業を選ぶこととなりますが、何を選んだかは各課の責任（もちろん最終的には全庁でそれを妥当とされますが）です。

一律的なこうしたやり方は行政にはなじまないと考えます。特色・自発性が出しにくくなります。そのため今、山田村政以前の「福祉の村づくり」で力を入れてきた事業は多くが不適切とされています。お金はそれなりにあるが本来の行政の役割は十分果たさず、質の低い東海村行政をめざしているのが現状です。

福祉・教育を削らずに、商工業、観光支援を行うべき

今、山田村政は、持っている貯えを使ったり本当の意味での無駄を省くなどして費用をつくるのではなく、福祉・教育関係、農業予算には大いに無駄があると削らせ、その費用を、これまで弱かったとされる商工業者支援・観光費用にあて、村政がより充実したと言っています。商工業、観光への支援は大切なことですが、これらは住民生活が一定成り立ってこそ利用が進むものですから、やはり本来の「住民の福祉の増進をはかる」という行政の役割を果たすことが最優先課題であるべきです。また、東海村の商工業者の多くが原子力関連からの仕事をいただくことに重点を置いている（商工会発言）以上、自ら商工業の発展を閉ざしているのも同然であることを、村はしっかり助言するべきです。



【12日、議会一般質問から】

(大名) 敬老会を継続すべき = 家庭環境の違いを超えて、高齢者誰もが等しく祝福の気分を実感できる。それが公的にお祝いすることの大切さ (高齢者・地域・行政が長寿をともに喜び合い、元気が出るみなもと)。

(福祉部長) 「敬老対象者が増加する中で出席率が減り続けている。会場の問題、協力体制など総合的に判断して、廃止とした」。

(大名) お祝いをしようとする心があれば、敬老対象者側のご意見を伺うのが本来。そうした努力をしないで「廃止」を決定するのは、村は村民の長寿を本当に喜んでいるのか？

東海村の行政規模ならできる行政主催の敬老会。村の良さを壊さないで！

他の自治体の多くでは、今、敬老会は地域で行っているようです。人口規模が大きくなれば一堂に集まる場所もないなどから、こうしたことはあるかもしれません。しかし、合併をせず役場から住民の顔が見える行政を行っている東海村ならできます。こうした良い行政は残すべきです。よい行政ができる村なのに他の大規模自治体がゆえにできないことを真似する必要はありません。わざわざ行政の質を低めて財政を豊にする考えは安倍自公政権と同じで、最悪の政治です。

山田村政の手法は、「国の言うことは重視する」「行政の質を低めて財政を豊にする」であり、東海村をこの角度へと大きく変えようとしています。決して主体性をもった村にはなり得ません。東海村の良さを壊すことはやめてほしい。

住民に寄り添い、人間味あふれ、命を大切に行政でこそ住民が輝きます。全ての住民に輝きを！！